

自然教育園見ごろ情報

2026年7月9日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目！

ミソハギが
咲いています！



水生植物園で
見られます

ミソハギ

和名の由来はハギに似て襷（みそぎ）に使ったことから襷萩、または溝に生えることから溝萩によるといわれます。お盆の供花としてよく使われ、鮮やかな赤紫色の花を咲かせます。



オオシオカラトンボ

いもりの池や武蔵野植物園の池周辺でよくみかけます。複眼が黒いことで、シオカラトンボ（複眼は青）と区別がつかます。



オオシオカラトンボ♀
メスは黄色です。



武蔵野植物園で
見られます

ヤマユリ

日本固有のユリ。観賞価値が高く、庭植え、切り花として栽培されます。1862年にイギリスで紹介されると、ヨーロッパで熱狂的に受け入れられ、明治・大正時代には外貨獲得に大きく貢献しました。



シロネ

地下茎が太く、真っ白なことによりシロネ（白根）の名前がつけました。葉腋（葉のつけ根）に白い花が数個ずつ密に咲きます。



シロネの花



雄花

雌花

シオデ(花)

2～3m程度のびる「つる植物」。雌雄異株で、雄花と雌花がそれぞれ咲いています。出始めの「若芽」はアスパラガスにそっくりで、「山のアスパラガス」とも呼ばれます。味も美味しく、和え物やてんぷらなどにされます。



シオデの若芽



ヤブミョウガ

食用になるミョウガ（ショウガ科）と葉が似ていて、やぶに生えることが名前の由来。ツユクサの仲間、真っ白な花は、見ていだけで涼しげです。



マンリョウの実
(12月～2月頃)



全域で
見られます

モンキアゲハ

後翅の白い紋がよく目立つ、黒いアゲハチョウ。ひらひらと飛んでいる姿やいろいろな花に吸蜜する姿をよく見かけます。



路傍植物園で
見られます

マンリョウ

枝先に小さな白色の花を咲かせ、秋から冬にかけて、光沢のある赤い実をつけます。江戸時代から園芸植物として知られ、センリョウやヤブコウジとともに正月飾りとして使われています。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園